

# 暮らしの 情報コーナー

## ◆このコーナーの見方◆

問=問い合わせ 申=申し込み 市=市役所(〒669-1595 三輪2-1-1) TEL=電話  
 ハ=ハガキ 往ハ=往復ハガキ F=ファクス e=eメール  
 ※申し込みがハガキ、ファクス、eメールの場合は、必要事項(〒住所、名前、年齢、電話番号、ファクス番号、講座名)などを明記してください。  
 ※料金表示がないものは**参加無料**  
 ※申し込みは指定方法のいずれかで可  
 ※記載がないものは**申し込み不要**

## 要約筆記者養成講座 手話奉仕員養成講座

【要約筆記者養成講座(パソコン後期)】  
 5月2日～10月24日の毎週水曜10時～12時(8月15日を除く全25回)総合福祉保健センター 対象:要約筆記者養成講座(パソコン前期)を修了してノートパソコンを持参できる人 定員:10人 受講料:3,000円(市内在住・在勤・在学以外の方は6,000円)申 下記

【手話奉仕員養成講座(入門編)】5月12日～10月6日の土曜10時～12時(8月11日、9月1日を除く全20回)総合福祉保健センター 対象:はじめて手話を学ぶ人 定員:25人 受講料:2,000円(市内在住・在勤・在学以外の方は4,000円)申 下記

【申込】4月13日必着、所定の申込用紙を持参 郵送 F e で 市障害福祉課(559-5075 F 562-1294 e syogai\_u@city.sanda.lg.jp) ※いずれも応募多数の場合は、市内在住・在勤・在学の人を優先して抽選、テキスト代別途要。申込用紙は障害福祉課、各市民センターなどで配布、市ホームページからもダウンロード可

## 三輪明神窯史跡園

### 「伊藤瑞宝じきでん講座」

①少人数でじっくりシニアやきもの講座4月6日(金)10時～12時 ②季節のやきもの講座「涼やか!青磁の風鈴」4月8日(日)10時～12時 ③青磁の器づくり講座4月8日(日)13時～15時 対象:①55歳以上 ②③小学2年生以下は保護者同伴 定員:①③各15人 ②25人 ※いずれも多数の場合抽選 参加費:①②各700円 ③700円～1,000円 申 講座開催日の1週間前までに TEL F 来園で三輪明神窯史跡園(563-8211 F 兼)9時～17時 月曜休(祝日の場合は翌日休)※団体受付、出張やきもの講座あり

## 4月木工教室 「一輪車型プランターBOX」

4月29日(日)10時～15時30分 対象:18歳以上 ※電動工具を使った作業あり 定員:10組(多数の場合抽選) 材料費:3,000円 申 3月31日必着、参加者全員の必要事項、必要材料数をハ F で 〒669-1505 尼寺968 有馬富士共生センター(566-1200 F 566-1199)

## 淡路風車の丘

【ガーデニング】4月10日(火)10時～12時 定員:20人(多数の場合抽選) 受講料:3,000円 申 4月3日必着、TEL F 窓口で下記

【風車の丘スプリングフェスタ】コンサート、フリーマーケットなど4月7日(土)・8日(日)10時～15時 申 淡路風車の丘(567-5780 F 兼)月曜休(祝日の場合は翌日休)

## ふれあいと創造の里 陶芸館

【お気軽1日ミニ陶芸】①葉っぱのお皿(2枚)4月5日(木)・6日(金) ②土鍋4月12日(木)・13日(金) ③シーサー4月19日(木)・20日(金)いずれも10時～14時 対象:中学生以上 定員:各日先着10人 受講料:①800円 ②4,000円 ③1,000円 作品の引き取り:後日連絡します

【子ども陶芸教室】4月8日～6月17日の毎週日曜(4月29日を除く)いずれも10時～12時 対象:小学生以上(2年生以下は保護者同伴) 定員:各日先着10人 受講料:1回700円 作品の引き取り:8月5日(日)9時～16時30分

申 問 ふれあいと創造の里陶芸館(568-4340 F 兼)月曜休 ※いずれも材料費込(市外の方は5割増し)



## キッピー山のラボ (有馬富士自然学習センター)

【クラフト教室】木登りクマさんを作ろう3月18日(日)13時～16時 定員:当日先着20人 参加費:300円

【キツツキをつくろう】おもちゃのキツツキ作り 3月24日(土)13時～16時 定員:当日先着30人 参加費:300円

【チョウを折る】折り紙で春の昆虫を作ろう4月1日(日)13時～16時 定員:当日先着20人 参加費:200円

【春の野鳥観察会】4月8日(日)10時～12時 対象:4歳以上 定員:30人 参加費:100円(就学前児は無料) 申 3月29日必着、往ハ F で下記 申 問 〒669-1313 福島1091-2 キッピー山のラボ(569-7727 F 569-7737)

## 三田市国際交流協会

【英会話講座】いずれも全16回

クラス(英検)	期間	曜日時間
A(準1級)	4月16日～10月1日	月 13:00～14:15
B(準1級)	4月18日～9月19日	水 10:30～11:45
C(2級)	4月18日～9月19日	水 13:00～14:15
D(準2級)	4月16日～10月1日	月 10:30～11:45
E(3級)	4月16日～10月1日	月 14:30～15:45
F(4級)	4月18日～9月19日	水 14:30～15:45

定員:先着16人程度 受講料:各23,760円 ※英検の級数は各クラスのレベルの目安

【土曜英会話サロン】外国人講師から慣用句などを学びましょう!4月14日～9月22日(月2回で全12回)①16時～17時15分 ②17時30分～18時45分 受講料:18,360円 定員:先着各12人 申 問 TEL F e で三田市国際交流協会事務局(559-5164 F 559-5173 e office@sia-japan.org)10時～17時 ※いずれもテキスト代別途要



## 今月の納税

納期は**4月2日(月)**まで  
納期内に納めましょう

## 国民健康保険税(第9期分)

国保医療課  
(559-5050 FAX 559-2636)

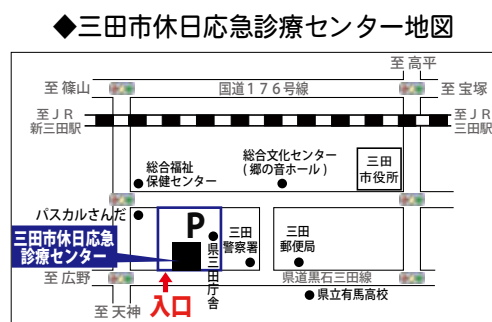
## 3月休日診療当番医

休日応急診療センター		
所在地:天神1丁目10-14(556-5005) 内科、小児科を中心とした外来応急診療 受付時間:8時45分～11時30分、13時～16時30分 診療時間:9時～ ※受付終了30分前からは大変混み合います		
18日(日)	立石 径昇 小林 昇	(小児科) (内科)
21日(水)	井上 満夫 堂本 康治	(小児科) (内科)
25日(日)	井上 満夫 福田 明	(小児科) (内科)

※都合により当番医が変更になる場合があります。  
 ※小児科医以外の診療日について、3歳児未満は診療できない場合があります。  
 ※投薬は休日が続く場合を除き1日分です。翌日には「かかりつけ医」などに受診をお願いします。  
 ※三田市休日応急診療センターの診療時間外(日曜、祝日の17時以降など)は神戸こども初期急病センターでも診察が受けられます。受付時間:月曜～金曜/19:30～翌朝6:30 土曜/14:30～翌朝6:30 日曜・祝日(年末年始)/8:30～翌朝6:30  
 ※診察は各受付開始時間の30分後から  
 TEL 078-891-3999

## 休日診療当番医(歯科)

休日診療当番医(歯科)		
診療時間9時～15時 ※歯科は各医院で診療		
18日(日)	渡辺デンタルクリニック(ゆりのき台2)	559-7648
21日(水)	黒瀬歯科クリニック(駅前町)	564-0175
25日(日)	おおにし歯科(中央町)	561-2552



さんだ健康医療相談ダイヤル24 (24時間年中無休・通話料無料)  
 0120-310-328 ※住所、名前、年齢を教えてください。

## 三田市史だより

現在の高平地区の範囲が定まらなは、昭和50年代です。それ以前は、小栢区が小野地区に区分されてきました。これは、三田市の発足以前に羽束川流域は基本的に有馬郡高平村に属したのに対して、小栢区のみが同郡小野村に属したことに由来します。さらに明治29年(1896)まで高平村は、当時の尼崎町や伊丹町と同じ川辺郡に属し、さらに江戸時代のほとんどの期間を通じて、摂津国豊島郡麻田村(現在の大阪府豊中市内)に本拠をおく麻田藩青木氏の支配下にありました。

高平村の範囲が青木氏の支配となつたのは、寛永4年(1627)のことです。青木氏は現在の岐阜県大垣市の出身とされ、豊臣秀吉のもとで活躍し摂津国豊島郡(現在の大阪府豊中市周辺)を支配する大名に取り立てられました。秀吉の没後は徳川家康に接近し、豊島郡麻田村(現在の豊中市蛸池付近)を拠点とする大名となりました。

青木氏の領地は各地に分散していましたが、寛永4年に現在の愛媛県内の領地が分離され、代わりに与えられたのが高平地区に属する村々のほか波豆や佐管利(いずれも現在の宝塚市内)などを含む多田郷と呼ばれた地域でした。その後さらに佐管利などが幕府に収められた結果、麻田藩青木氏の支配は1万石余りで確定し、幕末に

三田市史だより

麻田藩と多田郷のつながり

< 152 >

青木重兼は、茶の湯や禅に造詣が深く、特に渡来して間もなかつた黄檗禅の振興に功績がありました。藩主を退いた後は現在の末吉の山中に建てた庵に隠棲し、波豆川の舟舟を再興することにも、没後の墓所を庵から発展させた方広寺に定められました。これら重兼ゆかりの2カ寺は黄檗宗寺院として今に法灯を受け継いでいます。

麻田藩領多田郷の枠組みは、実質的に明治29年の郡域変更まで受け継がれました。新名神高速道路の開通を機に、北摂の里山の魅力とともに、かつての多田郷のつながりにも改めて注目したいものです。

(文化スポーツ課 559-5144 FAX 563-7776)